



平成 21 年 11 月 27 日

各 位

会 社 名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 CFO 尾高 宏
(TEL 045-444-5232)

事業会社および子会社の 12 月 1 日付組織変更・人事異動に関するお知らせ

当社は、本年 12 月 1 日付で、下記のとおり日本ビクター株式会社（以下「ビクター」）の組織変更と役員委嘱変更、ビクター子会社の役員異動、当社の役員委嘱変更を行いますのでお知らせいたします。

1. 組織変更および人事異動の主旨

デジタル AV 機器事業のグローバルな競争が一段と激化する中で、当社の持つ優れた技術や知的資源を新たにソリューション、サービス事業へ展開することによって成長を増進し、為替に影響されにくい収益体制を再構築するため、本年 12 月 1 日付で、ビクターの組織変更と役員委嘱変更、ビクター子会社のビクターエンタテインメント株式会社（以下「ビクターエンタテインメント」）およびビクターサービスエンジニアリング株式会社（以下「VSE」）の役員異動、当社の役員委嘱変更を行います。

2. 主な組織変更

(1) ビジネス・ソリューション事業の拡充・強化

- ①ビクターではこれまで育成事業部、技術本部でコーポレートレベルでの新事業、新技術開発に取り組んできましたが、B to B 事業への展開が進んできたことから、その主力約 350 人を発展的にビジネス・ソリューション事業部へ組み込みます。
- ②ビクターのビジネス・ソリューション事業部の傘下に、業種別、顧客別ソリューションを提供し、多くの機器をシステムとしてまとめていくためのプロジェクト統括部を新設し、営業・応用技術が一体となった組織を発足させます。また、これまでの機器ごとのビジネスユニットを、販売、技術、生産も含めた一貫した損益責任を持つ経営体制に再編し、マトリックス経営を進めます。
- ③本年 10 月 29 日公表の「構造改革アクションプランについて」に記載のとおり、VSE のエンジニアリング（保守、施工、修理）部門と、株式会社ケンウッド（以下「ケンウッド」）の子会社である株式会社ケンウッド・コアを統合し、ビクターとケンウッドの出資によるビジネス・ソリューション会社「J&K ビジネスソリューション株式会社」（以下「J&K ビジネスソリューション」）を本年 12 月 1 日付で設立します。この J&K ビジネスソリューションに、ビジネス・ソリューション事業部のソリューション営業と設計部門、ケンウッドの無線システム事業部の無線機保守管理チームも移管し、総勢約 300 人の体制とすることにより、VSE のエンジニアリング機能と、ビクター、ケンウッド両社の業務用（B to B）事業の強みを融合させたビジネス・ソリューション事業への取り組みを強化します。さらに、ソリューション関連のビクター子会社であるビクターアークス株式会社、株式会社ビデオテックの両社を J&K ビジネスソリューションの傘下におき、グループトータルのリソースを活用したビジネス・ソリューション事業強化を目指します。

(2) エンタテインメント事業の構造転換

ソリューション事業とともにサービス事業にも注力し、ハード中心から知的サービスにも注力する新しい事業への構造転換をはかる一環として、その先駆的役割を担ってきたビクター100%子会社のビクターエンタテインメントに社外から新しい経営者を招き、B to B 事業への展開も含めて、音楽 CD 市場の低迷から脱する取り組みを進めることとしました。

代表取締役社長に元東芝 EMI 株式会社 代表取締役社長 斉藤正明氏を招いて、新しい音楽エンタテインメント事業への発展を期して多角的に取り組み、また取締役日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 金巻龍一氏を招いて、例えばディスプレイを使ったサイネージと音楽・映像を組み合わせたエンタテインメントコリドーへの取り組みなど、エンタテインメント事業を新しいサービス事業の一つの核として取り組みたいと考えています。

(3) 事業ジャンル別一貫連結経営体制への再編

各事業部およびその中の事業ジャンル別統括部を、販売から企画、技術、調達、生産（工場）までを一貫通貫で、管理的にも、会計的にも、スルーした連結経営責任を負う体制に再編します。

これまで長らく海外販社、国内営業などが独立したプロフィットセンターとなり、事業部の技術・生産など商品供給部門との二重のプロフィットセンターであった体制を改め、ジャンル別統括部が販売から生産までスルーしたプロフィットセンターとして連結経営を徹底して、競争力強化に取り組みます。

(4) アフターサービス会社の統合

前述の J&K ビジネスソリューションの設立にともない、VSE はアフターサービスに特化した会社となりますが、早期にケンウッドのサービス子会社である株式会社ケンウッド・サービスと統合し、グループとして両社製品のアフターサービスを行うことにより、さらなるサービス力と CS の向上を目指すとともに、スケールメリットによる競争力を強化していきます。

3. 主な人事異動

ビクター役員委嘱変更

氏名	新職務	現職務
鶴田 雅彦	取締役 技術本部長 兼 ビジネス・ソリューション事業部長付	取締役 技術本部長 兼 同本部 デイビジョン技術開発センター長 兼 ビジネス・ソリューション事業部長付
堀 伸生	取締役 デジタル・イメージング事業部長 兼 同事業部 海外販売統括部長 兼 同事業部 イメージング統括部長	取締役 デジタル・イメージング事業部長
北見 雅則	取締役 ビジネス・ソリューション事業部長付	取締役 育成事業部長 兼 同事業部 事業開発統括部長 兼 ビジネス・ソリューション事業部長付

ビクターエンタテインメント役員異動

新任代表取締役（12月1日予定）

氏名	斉藤 正明	
略歴	昭和 45 年	中央大学 法学部 卒業
	昭和 45 年	東芝 EMI 株式会社入社
	平成 9 年	東芝 EMI 株式会社 代表取締役社長
	平成 17 年	同社 取締役会長兼 CEO
	平成 18 年	株式会社 M-site 設立 同社 代表取締役社長
	平成 21 年 5 月	株式会社 Contents League 代表取締役
	平成 21 年 12 月	ビクターエンタテインメント 代表取締役社長就任予定

新任取締役（12月1日予定）

氏名 金巻 龍一
 略歴 アイ・ビー・エム ビジネスコンサルティング サービス株式会社
 パートナー 専務取締役
 戦略コンサルティンググループリーダー 兼
 日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員

早稲田大学大学院 理工学研究課 博士前期課程修了
 日本ビクター、アンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア）等を経て、プライ
 スウォーターハウス コンサルタント（現アイ・ビー・エム ビジネスコンサルティング
 サービス）入社、現在に至る。専門領域は、法人営業改革、サービス事業開発、企
 業/事業統合マネジメント、プロフェッショナル人材管理。
 主な著書は、「企業統合」（日経B P）、「カリスマの消えた夏」（日経B P）など。
 慶應義塾大学 System design & Management(SDM)大学院 特別研究教授

退任予定取締役

氏名 三枝 照夫（現 取締役会長）
 三枝 照夫はこれまで通り取締役会長の職務を遂行し、平成 22 年 1 月 1 日付で、取締
 役を退任、アドバイザーに就任する予定です。
 氏名 加藤 裕一（現 代表取締役社長）
 加藤 裕一は平成 21 年 12 月 1 日付で取締役となって職務を続け、平成 22 年 1 月 1 日
 付で、取締役を退任、アドバイザーに就任する予定です。

当社役員委嘱変更

氏名	新職務	現職務
尾高 宏	取締役 日本ビクター(株) 取締役 ビジネス・ソリュー ション事業部長 兼 執行役員最高財務責任者（CFO） 兼 J&K ビジネスソリューション(株) 代表取 締役社長 兼 ビクターアークス(株) 代表取締役社長	取締役 日本ビクター(株) 取締役 ビジネス・ソリュー ション事業部長 兼 執行役員最高財務責任者（CFO） 兼 ビクターアークス(株) 代表取締役社長

ビクターサービスエンジニアリング役員異動

氏名	新職務	現職務
安藤 正輝	当社 統合シナジー推進部 CS・品質担当 シニ アマネジャー 兼 (株)ケンウッド・サービス 代表取締役社長 兼 ビクターサービスエンジニアリング(株)代 表取締役社長	当社 統合シナジー推進部 CS・品質担当 シニ アマネジャー 兼 (株)ケンウッド・サービス 代表取締役社長 兼 ビクターサービスエンジニアリング(株) 社 長付アドバイザー

以上